

## 1. 八洲学園大学中長期計画について

本学は平成25年(2013)度に、10年後の八洲学園大学の未来像を策定し、以後の5年間は第一期、その次の5年間は第二期として、未来像に近づくために教育改革を進めてきた。

令和2年(2020)年度は、後期5年間の中間地点にあたる。これまでの成果を明らかにして、残すところ2か年の教育改革を押し進めることにする。

平成25年(2013)度に立てた、10年後の大学の未来像は以下の通りであった。

- (1) 生涯を通して主体的に学び発信し続ける意欲をもった人材を育成している
  - ①カリキュラム・ポリシーに基づいた体系的な教育課程の編成
  - ②ディプロマ・ポリシーに基づいた評価指標の明確化
  - ③多様な学習の支援
- (2) 学生が意欲をもつ学びの場を構築している
  - ①アドミッション・ポリシーに基づいた学生の受入れ
  - ②学生の視点を育成に反映させる取り組み
  - ③学生の成長を促す取り組み
- (3) 時代の要請に応えたeラーニングスタイルを提供している
  - ①eラーニングシステムの機能を生かした教授法の開発
  - ②FDの実施
  - ③SDの実施
- (4) 生涯学習社会の実現に向けての研究開発を推進している
  - ①カリキュラムの確認と再構築
  - ②FDの実施
  - ③研究紀要の発行
- (5) グローバル化に対応した学習を提供している
  - ①多様なインターネット環境に対応した学習システムの構築
  - ②公開講座の開設
  - ③科目群の整備
- (6) キャリア形成や就職・転職支援をしている
  - ①就職・転職支援の充実
  - ②科目群の整備
  - ③公開講座の開設
- (7) 広く社会や地域に貢献している
  - ①神奈川県・横浜市との連携
  - ②各地域での社会貢献
  - ③大学施設・設備の開放

## 2. 八洲学園大学中長期計画 第二期計画の中間状況

令和2年(2020)の状況は、以下の通りである。

### (1) 生涯を通して主体的に学び発信し続ける意欲をもった人材を育成している

- ①カリキュラム・ポリシーに基づいた体系的な教育課程の編成  
カリキュラム・ポリシーを以下のように定めている。

生涯学習学部生涯学習学科では、本学の建学の精神、教育の理念、使命・目的に基づき、生涯学習社会の実現に貢献しうる人材を育成するため、下記の方針に基づきカリキュラムを編成します。

#### 1. 卒業時の到達目標

- ・生涯学習についての幅広い識見を身につけます。
- ・生涯学習社会の実現に貢献しうる課題発見・解決能力、実践力を身につけます。
- ・これらの基盤となる豊かな人間性を身につけます。

#### 2. 自ら主体的に学ぶ学生に合ったカリキュラム編成

(1) 科目区分は「基礎科目」と「専門科目」の2区分で構成し卒業要件を明確にします。

(2) 「基礎科目」30単位以上、「専門科目」64単位以上の修得を卒業要件とすることにより、一つの領域に偏らない幅広い学習を可能とします。同時に、卒業要件の残り30単位は2区分から選択することにより自由度の高さを確保します。

#### 3. 生涯学習を目的とした学生の多様な関心に応えるカリキュラム編成

(1) 「基礎科目」は、学生が本学での学習を進めるにあたって、教養的・基礎的知識や基礎スキルを身につけることを目的とした科目により編成します。導入教育としての「初年次セミナー」をはじめとするアカデミックスキルを身につける科目、及び、「専門科目」で学習する準備として、教養的・基礎的知識や基礎スキルを身につける科目があります。

「専門科目」は、学生が「基礎科目」で学習した知識やスキルを土台に、本格的な専門知識やスキルを幅広くより深く学習することを目的とした科目により編成します。

「専門科目」は、下記3つの系の科目を開設します。

①生涯学習支援系：生涯学習についての幅広い識見を養うため、生涯学習学、社会教育学、図書館情報学、博物館学に関する科目を開設します。同時に、必要な単位を修得することで、社会教育主事(任用)、司書、学芸員の資格を取得できます。

また、教員免許状取得等の条件を満たす方は司書教諭の資格も取得できます。

②生涯マネジメント系：生涯学習社会の実現に貢献しうる課題発見・解決能力、実践力を養うため、法律・経済・経営・ビジネスに関する科目、及び、キャリア教育に関する科目を開設します。同時に、必要な単位を修得することで、税理士、簿記、行政書士等の資格取得にも役立ち、また、卒業後の進路を意識し自らのキャリアについて考え実現していく力を養います。

③人間力創造系：豊かな人間性を養うため、文学・言語・歴史、宗教・倫理・哲学、教育・家庭・健康などの多様な領域に関する科目を開設します。学生が自らの生涯にわたって教養を高め、人間力を培えるように、多様な領域を網羅します。

(2) 希望する学生を対象とした卒業論文関係科目を開設します。

専門科目は「生涯学習支援系」「生涯マネジメント系」「人間力創造系」の三つの系の科目群で構成されている。

教養教育は「人間力創造系」の科目群で実施されている。「文学・言語・歴史」は15科目、「宗教・倫理・哲学」は10科目、「教育・家庭・健康」は41科目、合計66科目が開講されている。（八洲学園大学履修規程・令和2年（2020）4月1日施行）

### ②ディプロマ・ポリシーに基づいた評価指標の明確化

ディプロマ・ポリシーを以下のように定めている。

生涯学習学部生涯学習学科では、次のような素養を身につけ、かつ正科生として所定の期間在学し、卒業に必要な単位を修得した者に、学士（学術）の学位を授与します。

- ・生涯学習についての幅広い識見
- ・生涯学習社会の実現に貢献しうる課題発見・解決能力、実践力
- ・これらの基盤となる豊かな人間性

令和2年（2020）年度より GPA 制度を導入している。

### ③多様な学習の支援

- ・新規スクーリング科目を逐次開設している。

平成31年・令和元年（2019）度

「近代西洋美術の表現様式と鑑賞」 「はじめて学ぶ裁判員制度」  
「児童福祉と社会的養育」 「少年法」 「子供の絵画表現と美術様式」  
「はじめて学ぶ刑法各論」 「子ども家庭福祉論」  
「はじめて学ぶ犯罪社会学」

令和2年（2020）度

「観光心理学」 「家庭福祉論」 「初歩のプログラミング入門」  
「わたしの人生—新渡戸稲造の人生哲学に学ぶ」  
「はじめて学ぶ刑法総論」 「社会心理学概論」 「臨床心理学概論」

令和3年（2021）度

「社会思想史Ⅰ」 「ポピュラー音楽論」 「少年法入門」

- ・新規テキスト科目を逐次開設している。

平成31年・令和元年（2019）度

「はじめて学ぶ刑法総論」 「はじめて学ぶ刑法各論(T)」 「世界の防犯入門」  
「はじめて学ぶ刑事訴訟法」 「事例から学ぼう犯罪と心理」  
「図書館基礎特論」 「子どもの保育と教育」 「子どもの遊びと文化A」  
「情報社会と教育」 「学校教育カリキュラム実践論」

令和2年（2020）度

「ヤングアダルト資料特論」 「社会保障論」 「社会学概論」  
「幼児教育の原理」 「高齢者福祉論」 「児童福祉論」

令和3年（2021）度

「日本史入門」 「地理学入門」 「災害復興法学入門」 「自然災害史論」  
「PC 実践スキル～Excel を使いこなす～」 「障害者福祉論」  
「死生学（グリーンケア入門）」 「文化とメディアの社会学」  
「幼児教育・保育の歴史」 「幼児教育・保育制度の現代的課題」  
「教育者のための法学入門」

(2) 学生が意欲をもつ学びの場を構築している

①アドミッション・ポリシーに基づいた学生の受入れ

アドミッション・ポリシーを以下のように定めている。

生涯学習学部生涯学習学科では、本学の建学の精神、教育の理念、使命・目的に共感し、生涯学習社会の実現に貢献しうる様々な経歴を持つ学生を国内外から幅広く受け入れます。

・豊かな人間性と生涯学習についての幅広い識見を基礎学力の上に養い、専門的な知識・技術を習得して、生涯学習社会の実現のために貢献しようとする意欲のある方。

・生涯学習関係の国家資格（社会教育主事、司書、学芸員、司書教諭等）を取得し、生涯学習センター、公民館、図書館、博物館、学校等で専門性を生かして働こうとする方、学校支援等に関わって地域の教育に寄与しようとする意欲のある方。

・マネジメント力（創造力、問題解決力、コミュニケーション力等）を培い、企業等において、新たな道を切り拓こうとする意欲のある方。

今後、資格取得希望者以外にも生涯学習を志す者のための受け皿を広げることが課題である。

②学生の視点を育成に反映させる取り組み

平成 31 年・令和元年（2019）度学生アンケートにて収集した意見・要望への対応の一つとして、シラバスの改善をはかっている。（2020 年 8 月 12 日）

意見・要望	シラバスの該当箇所	改善点
評価を明確にしてほしい	評価の方法	「シラバス作成要領」に則り「%」でシラバスの該当箇所の明記を促す
学習後の展開の実例紹介をしてほしい	学習の要点	「シラバス作成要領」に則り「達成目標」の明記を促す

※シラバスの改善をもとに、各教員がその趣旨を汲み取り教育活動を行っている。

③学生の成長を促す取り組み

・科目の整備をしている。

（例）「レポートの書き方入門」「初年次セミナー」など

・「学習のてびき」を作成し、配信している。

・「レポートの書き方ハンドブック」を作成し、配信している。

・オンラインで交流会を実施している。

（例）小関慶太先生交流会（2021/2/27）

3 月学生支援センター説明・交流会（2021/3/6）

野口久美子先生交流会（2021/3/13）

(3) 時代の要請に応えた e ラーニングスタイルを提供している

① e ラーニングシステムの機能を生かした教授法の開発をしている。

開学当初に開発設置した学習管理システム (LMS) の「eLy」を、より機能を進化させた「SOBA」に更新、通信速度や送信容量の大幅な改善を図り、遠隔地を結ぶ教授・学習がスムーズにできる e ラーニングを実施している。

実施に当たっては、授業で人間的なふれあいができるように、教員からの語りかけや資料の工夫、学生にチャットで応答を求めるなどの工夫を重ねている。テキスト履修の添削も提出締切から二週間で返却するなど、スピーディさに努めている。

② FD の実施

以下のように FD 研修会を実施している。

- ・平成 30 年 (2018) 度 FD 研修会 (2019/3/11)  
テーマ「大学教育と通信教育」
- ・平成 31 年・令和元年 (2019) 度 FD 研修会 (2020/3/10)  
テーマ「授業参観報告」
- ・令和 2 年 (2020) 度 FD 研修会 (2020/12~2021/3)  
コロナ禍により、集会を避けるため、オンラインで、個別に独立行政法人日本学術振興会 研究倫理 e ラーニングコースを受講

③ SD の実施

以下のように SD 研修会を実施している。

- ・平成 30 年 (2018) 度 SD 研修会 (2018/12/10)  
テーマ「大学の評価基準」「精神障がい、発達障がいのある学生への対応」
- ・平成 31 年・令和元年 (2019) 度 SD 研修会 (2020/3/10)  
個別テーマ「ハラスメント防止」(オンライン研修の受講で実施)  
大テーマ「八洲学園大学のブランディング」(緊急事態宣言に伴い中止)
- ・令和 2 年 (2020) 度 SD 研修会 (2021/03/16)  
テーマ「大学通信教育の現状、そして今後に向けて」  
(コロナ禍により、オンラインで実施)

(4) 生涯学習社会の実現に向けての研究開発を推進している

① カリキュラムの確認と再構築

年度毎に開設科目を見直し、科目の廃止、科目の新設を実施している。

- (例) 2020 年度カリキュラムより
- 「児童福祉と社会的養育」 → 「児童福祉論」
  - 「子ども家庭福祉論」 → 「家庭福祉論」

② FD 研修会の実施

平成 31 年・令和元年 (2019) 度、及び令和 2 年 (2020) 度は、教員が互いのスクーリング授業のオンデマンド配信を視聴する形で授業参観をし、研さんに努めている。

③ 研究紀要の発行

以下のように研究紀要を発行している。

平成 31 年・令和元年 (2019) 度 八洲学園大学紀要第 15 号

令和 2 年 (2020) 度 八洲学園大学紀要第 16 号

(第 16 号は学術情報リポジトリへの掲載に変更)

(5) グローバル化に対応した学習を提供している

①多様なインターネット環境に対応した学習システムの構築

- ・外国からもリアルタイムで学習に参加できるシステムが整備され、実施している。

②公開講座の開設

異文化紹介の公開講座の開講に取り組んでいる。

「ロシアはどこへ行くのか？—揺れる大国のアイデンティティー」

「司書対象「英語よみきかせ」のための選書」など

③科目群の整備

- ・異文化理解を目指す科目群を開設している。

「異文化理解入門—現代世界を読み解く—」「はじめての文化人類学」など

- ・日本の歴史文化発信を目指す科目群を開設している。

「世界に通じる日本語コミュニケーション」「日本史入門」「俳句と俳文1」など

(6) キャリア形成や就職・転職支援をしている

①就職・転職支援の充実

- ・キャリアコーディネーター室を設けて支援を行っている。

令和2年(2020)度、就職セミナーの開催の例

・就職ガイダンス(新卒)(2021/2/25) ライブ / オンデマンド

・就職ガイダンス(司書)(2021/3/1) オンデマンド

・司書×シニア向け(2021/3/1) ライブ / オンデマンド

・司書×公務員試験希望者向け(2021/3/2) ライブ / オンデマンド

・自己分析・メンタルヘルス(2021/3/4) ライブ / オンデマンド

・会社選び・履歴書と職務経歴書の書き方(2021/3/6) ライブ / オンデマンド

・面接対策(2021/3/8) ライブ / オンデマンド

②科目群の整備

- ・情報機器関連技能習得を目指す科目群を開設している。

「初歩のプログラミング入門」「PC実践スキル～Excelを使いこなす～」

「情報技術と社会～資格取得も視野に～」など

- ・キャリアアップを目指す科目群を開設している。

「社会人基礎力—仕事をする人から仕事ができる人へ—」「はじめての簿記」

「キャリアデザイン1」「ビジネス・コミュニケーションスキル」

「プレゼンテーション概説」など

③公開講座の開設

- ・就職・転職の支援ができる講座を開設している。

「司書の実務に関わる法律基礎講座～著作権編～」

「仕事に活かそうクラウドアプリ」

「オンラインでも動じない!伝わる話し方」など

(7) 広く社会や地域に貢献している

①神奈川県・横浜市との連携

本学の所在地である横浜市西区では、「西区民読書活動推進目標」の一環で、西区内の大学・専門学校と連携して「にしくらぶ」を運営し、本学も参加している。

- ・平成 29 年 (2017) 度 第 1 回目「にしくらぶ」では、9 月 30 日に講座「笑いでつくる健康な心と体 (講師・本学教授 渡邊達生) を開講。
- ・平成 30 年 (2018) 度 第 2 回目「にしくらぶ」では、10 月 13 日に講座「天才ピカソの絵の不思議 (講師・本学教授 佐々木達行) を開講。
- ・平成 31 年・令和元年 (2019) 度 第 3 回目の「にしくらぶ」では、10 月 12 日に講座「新しい自分発見！記憶とメンタルヘルス」(講師・本学准教授 竹田葉留美) を開講。
- ・令和 2 年 (2020) 度 第 4 回の「にしくらぶ」では、コロナ禍の中「コロナに負けるな！西区元気プロジェクト 2020」と銘打って、12 月に前年度開催の講座「新しい自分発見！記憶とメンタルヘルス」を YouTube で動画配信。

②各地域での社会貢献

- ・神奈川県初の防災士養成機関となる。
- ・全国各地の卒業生との連携などが今後の課題としてある。

③大学施設・設備の開放

- ・平成 30 年 (2018) 度・平成 31 年・令和元年 (2019) 度 図書館、空き教室を開放し、地域の人が利用している。
- ・令和 2 年 (2020) 度はコロナ禍対応で図書館の一般開放は中止。空き教室の貸し会議室 (有料) 開放のみ実施

以上が、前期 5 年間を経た後の、後期 5 年間の中間状況である。計画発案の 10 年後は令和 4 年 (2022) 年度である。さらに、充実した e ラーニングをめざして研さんを進めたい。